

思い出の料理



このコーナーは利用者さんの思い出の料理をご紹介しますコーナーです。



今回の料理は・・・ のっぺい汁（新潟）

4月号はホームヘルプサービスをご利用のWさんの思い出の料理をご紹介します。Wさんと奥様は新潟のご出身です。新潟では、のっぺい汁がお正月やお祭りなどの祝いごとや仏事には欠かせない料理だそうです。皆が集まる席では、仕出しを取っていても、のっぺい汁は必ずご家庭で作っていたそうで、Wさんのお家では鶏肉と干しシイタケの戻し汁の出汁がよく利いた味で、奥様の作られるのっぺい汁は絶品だったと教えて下さいました。

一般的には片栗でとろみをつけますが、Wさんのお家では里芋のでんぷん質で自然にとろみをつけた優しい味だったそうです。鶏肉の代わりに新潟名物の鮭を入れることもあり、それぞれのご家庭で具や味付けは少しずつ違ったそうです。

のっぺい汁の作り方

6人前材料

☐ 鳥もも肉…100g ☐ 里芋…8個 ☐ 人参…1本 ☐ こんにゃく…1枚
☐ 干しシイタケ…5枚 ☐ ごぼう…1本 ☐ 筍水煮…1個 ☐ 三つ葉…適量

- 1 干しシイタケは水で戻す。
- 2 里芋は皮をむき六方切にし、その他の野菜は拍子切りにする。もも肉は1口大に切り、湯せんする。
- 3 鍋にかつお出汁、シイタケの戻し汁と具材をいれ、酒、みりんを加え柔らかくなれば、しょうゆで味を整え三つ葉を散らす。

お肉がご法度なお寺の精進料理ではのっぺい汁が好まれ、鶏肉の代わりに厚揚げを入れるそうです

記：作本 弥生

寄付
寄贈

ありがとうございました！ 寄付寄贈順

寄付金

伊藤和美 様／西尾為和 様／西尾優子 様／杉井 哲朗 様

洛東園では見学、実習やボランティア等、随時受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

洛東園だより

平成30年4月発行 / 社会福祉法人 洛東園
発行責任者 / 西村 英亮

〒605-0981 東山区本町15丁目794
電話番号 (大代表) 561-1171 FAX 531-8372
ホームページアドレス
http://www.wf-rakutouen.com/

※記載中の写真はフリー配布素材と弊社で撮影した写真を使用し、撮影したものは全てご本人の了解を得て掲載しております。

洛東園の行事予定

その他クラブ活動なども随時行っております。

施設名	月	4月	5月	6月
養護老人ホーム		お花見会	食事会	屋内ゲーム
特養 洛東園		お花見 ドライブ	菖蒲湯	買い物ツアー
修道洛東園		お花見散策	家族交流会	地域交流会
デイサービスセンター (一般型)		お花見	端午の節句	お楽しみ会
(認知症対応型)		お花見	端午の節句	お楽しみ会
もみじの家		花見外出	菖蒲湯／外出行事	外出行事

洛東園

2018.4
だより

洛東園の理念

- 個性・自主性を尊重し、明るい温もりのある生活
- 安全と快適な暮らし
- 地域に根ざした開かれた施設

目次

春のご挨拶 洛東園 園長 西村 英亮 1頁

私のたからもの 職員編 2頁

事業計画・取組目標 3頁～4頁

洛東園川柳コーナー 5頁

あの頃の私 6頁

思い出の料理「のっぺい汁」 巻末

春のご挨拶

社会福祉法人洛東園 園長 西村 英亮

陽春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年もまた、洛東園のある大本山東福寺海蔵院内の大きな桜の木が咲き誇る季節となりました。

さて、2025年に到来する超高齢化社会に向けて地域包括ケア構築が求められる中で、平成30年度は第7期京都市民長寿すこやかプランがスタートする年度であるとともに、介護報酬、診療報酬の同時改定が実施されています。医療と介護の一体的推進、地域包括ケア推進に向けて、今年度においても京都市東山区の高い公益性と非営利性を備えた社会福祉法人として安定した事業運営を行うとともに、他の事業主体では対応できない必要とされる様々な福祉サービスを充足することにより地域社会に貢献してまいります。

また、老朽化が進行している養護老人ホームの移転、建て替えについて協議、検討を重ね、養護老人ホームの一部移転による個室化を含む住環境の改善を法人の方向性と定め、昨年12月の【京都市の介護サービス事業所を整備・運営する事業候補者の公募】に応募を行い、平成31年度事業候補者と選定されたことをご報告させていただきます。今後、（仮称）特別養護老人ホーム山科洛東園・養護老人ホーム一部移転整備助成事業に向けた取り組みを推進してまいりますので、今年度も皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



3頁より、平成30年度社会福祉法人洛東園運営・事業方針および取り組み目標を掲載させて頂いております。

ご意見葉書を同封させて頂いておりますので、ご意見等頂ければ幸いに存じます。



私のたからもの 職員編

このコーナー最終回は特別に職員編をお送りさせていただきます。

今回のたからものは・・・オートバイ

まずは、認知症対応型デイサービスセンターの奥野介護職員です。16歳でバイクの免許を取り、初めてバイクに乗って遠出したのが琵琶湖1周です。最も思い出に残っているバイク旅行先は北海道だそうです。

本人から一言 ヘルメットの着用時間が長かった為、薄毛になってしまった。との事です。関係あるんですかね？



左から 平田介護職員、森主任、奥野介護職員

お次は、京都市洛東地域包括支援センターの森主任です。今乗っているバイクは、小型のホンダベンリーです。入社と同時に購入したバイクは、18年も通勤の足として大切に乗り続けているとの事。このバイクは、大昔に発売されたバイクを復刻版として販売したもので、現代のスクーターには無いアナログで懐かしさのあるところに惚れ込んだそうです。

本人から一言 バイク名がベンリーなんて、名前まで面白いでしょ。とのこと。本田技研工業(株)によると、自転車のように手軽で、便利（ベンリ）なことが名前の由来だそうです。定年退職するまで大切に乘ってくださいね。

そして取りを務めるのは、養護老人ホームの平田介護職員です。バイクはバイクでもバイスクル（自転車）が大好き。自転車歴はなんと20年。一番の遠乗りは、明石海峡大橋まで往復、日帰りで行ったそうです。すごい！



本人から一言 通勤も自転車ですし、暇さえあれば自転車に乗っていて運動量も多いはずなんですけど、お腹は順調に出てきていますね。お腹が邪魔で自転車に乗れなくなないように気を付けてくださいね。

職員のみなさん、オートバイや自転車が大好きで大切にされている宝物ですが、本当の宝物は旅先での出会いや思い出。そして趣味に集う仲間なのでしょうね。

これからも、安全運転をお願いします。

記：小林 紀子、湊武 容子

事業計画・取組目標

平成30年度 社会福祉法人 洛東園

法人理念	1. 個性、自主性を尊重し、明るい温もりのある生活	2. 安全と快適な暮らし	3. 地域に根ざした開かれた施設
方針	職員個々が保健医療分野も含み自らの成長と研鑽に励み、法人運営の安定及び介護サービスの成長を目指す		

法人目標	1. 組織経営のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化（社会福祉充実残額、社会福祉充実計画の作成等）、定期監査（内部及び外部）の実施によるコンプライアンス（法令遵守）の徹底		2. 社会福祉法人としての地域ニーズの把握と社会貢献、公益的な活動、生活困窮者に対する積極的支援の継続（京都市高齢者すまい・生活支援事業、配食サービス等）		職員の行動指針
	3. 高齢者の虐待予防と早期発見、早期対応への取り組み		5. 福祉避難所としての体制強化		洛東園の職員であることに誇りを持つ
	4. 人材育成、研修体制の整備、見直し		6. 腰痛予防、労働災害・通勤災害・交通事故防止		利用者、来客、職員間の挨拶をする
事業計画	1. 平成 31 年度（仮称）特別養護老人ホーム山科洛東園整備事業、養護老人ホーム一部移転整備事業の推進		6. 介護プロフェッショナルキャリア段位制度アセッサー・外部評価審査員の養成と活用等によるケアの質の向上、サービスの品質管理を担保する仕組みづくり		身だしなみを整える
	2. 経営会議での法人運営検証による安定的な経営基盤の強化（経費削減、介護報酬・診療報酬改定に対しての情報収集と対応）		7. 小規模多機能サービスもみじの家の移転、訪問看護事業等の新規事業開設の検討 特別養護老人ホーム洛東園（多床室）のプライバシーに配慮した居住環境改善の検討		整理、整頓を行う
	3. 管理部・各部署管理職による自主点検表等、法令遵守に基づく事業運営の徹底と毎月の必要書類の整備・チェック体制の確立 各種会議・委員会の意見集約及び活用		8. 社避難所設置訓練の実施		姿勢を正しく保つ
	4. 近隣府県の養成施設等へのアプローチなど、採用体制の更なる強化と処遇改善、労働環境の整備などを含む職員雇用の安定・多様な働き方の検討と整備		9. 職員の健康を守るための各事業運営の業務改善、変形労働時間制の活用と労働環境整備による時間外労働削減に向けた取り組みの実施		自分の健康を保持する
	5. きょうと福祉人材育成認証制度の上位認証取得と質の高い介護を社会に提供する人材育成を目標とした介護福祉士実務者養成施設設置計画の推進、法人理念に基づくキャリアパスと評価基準、新規採用者・階層別研修等の人材育成・研修体制の見直し		10. 利用者等ニーズ調査の実施		学ぶ意欲を高め、維持する
			11. 法人季刊誌発行・ホームページ等による広報		チームワークを大切にする
全事業所共通目標			各事業所取組目標		
・社会福祉法人としての地域貢献			のメンテナンスと生活環境改善 / 介護機器導入による介護環境の改善		
・地域における公益的な取り組みの推進			懇談会の開催		
・法令遵守の徹底 運営規定の遵守			4. 人材確保・育成と質の高いサービスの実現：新人・中堅職員の育成 / 業務改善による働きやすい職場環境づくり / 部署内研修の実施と		
・経営安定への努力 経費節減			交流を図り、情報交換及び共有に努める		
・業務改善、変形労働時間制の活用等による時間外労働の徹底縮減			協働・連携による認知症ケア・医療的ケア・看取りケアの充実 / 介護機器・福祉用具を活用した介護の実践 / プライバシーに配慮した住環境の改善		
・防災への取り組みの推進			密な連絡による家族との関係構築		
・介護事故予防、減少に向けた取り組み			3. 利用定数の確保：空床利用の積極的活用 / 医療連携・介護技術向上による入院者の減少 / 緊急措置入所の受け入れ		
・感染症対策の周知徹底			用者の確保（毎月の請求実績 20 件以上）		
・身体拘束の廃止			5. 地域活動・実習生の受け入れ：地域行事への積極的な参加 / 実習生等の積極的受け入れと養成校との連携		
・多職種協働による褥瘡予防			導者、新人職員、職員の資質向上 / ケアカンファレンス・フロアミーティングの充実 / ケア実践についての振り返りの実施と定期的な自己評価		
・職員腰痛予防			割を果たす		
・介護技術の習得、向上			2. ユニットケアの理念と意義を理解し、自らの意志に基づいたあたりまえの暮らしが継続できるように、各職種で考え協働し支援する		
・資格取得への努力			ケアの充実 看取りケアの充実		
・各種研修会への参加（内外）			4. 社会福祉法人として地域に貢献できる施設を目指す：地域行事への参加 / 福祉避難所としての役割の強化		
・ケアプランの理解実践			5. 施設全体であらゆる面から経営の安定化をきやすい職場の体制作りを目指す：変形労働時間制等の活用による時間外労働の縮減		
・医療的ケア研修への参加			度 度		

洛東園川柳コーナー

第四弾



桜舞う 優しき春が
やってきた

匿名様

そよ風に 散るや桜花も
舞い上がり

折田 孝平様

とんとんと ひびく太鼓の
春祭り

匿名様

新緑の 窓から見える
山笑う

谷口 帛子様

初節句 母が喜ぶ こいのぼり

匿名様

鶯の 鳴きたる丘は
わが住まい

庄金子 哲子様

真夜中の こむら返りは
歯も痛い

竹内 千栄子様

桜咲く 皆で お花見
楽しいな

匿名様

道もせに 桜散り果て
窓際に

匿名様

ぽかぽかと 陽射しを
待つ笑顔

庄田 潤子様

春の訪れを楽しみにした川柳を掲載させて頂きました。

今回で川柳コーナーも最終回となりました。

沢山の作品を頂き、ありがとうございました。

記：小林 紀子、吉川 暁子

あの頃の私

4月号から新しく始めました「あの頃の私」
地域で暮らす方の若い頃の華やかな想い出と、良き時代のお話を
伺いご紹介させて頂くコーナーです。



第一回は・・・5月に御年83歳を迎えられます

奥原 知代子 さんをご紹介いたします

この写真は、念願の上京区の白峯神宮の舞台で、
琉球舞踊を奉納した時、約20年前のものです。

今も現役で、琉球舞踊「瑠璃の会」の代表を務めておられます。43年の長い間、舞いを続けて
いるのは、奥原さん自身が琉球王国時代の踊り奉行していた祖先の子孫であり、琉球舞踊を
継承するためだそうです。

80歳を過ぎても、毎年春には、東山区の新日吉神宮で琉球舞踊を奉納されています。
奥原さんにとって、琉球舞踊は「私の人生そのもの」と話されていました。動ける限り、これか
ら琉球舞踊を続けていきたいと、今も現役で、琉球舞踊を続けている奥原さんは20年前と
変わらず素敵で、輝いておられます。



琉球舞踊
(りゅうきゅうぶよう)とは

琉球舞踊は琉球王国時代、国王の戴冠式の際に中国
皇帝から国王に任命する辞令書を携えて来琉する冊
封使（中国皇帝の名代）を歓待する為に創作された
古典舞踊（御冠船踊り）と、明治以降昭和まで新た
に創作された雑踊りを含めたものです。内容の豊か
さと格式の高さにより、平成22年9月に国の重要
無形文化財に指定された日本を代表する芸能です。
（参照：文化庁ホームページ）

奥原さんのますますのご活躍を陰ながら応援したいと思います。

記：吉川 暁子